

# しらかべ



2014年7月16日 人権・同和教育部発行

盛夏の候、保護者の皆様方におかれましてはご健勝のことと存じます。日頃は本校の人権・同和教育にご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、今月号は6月に行った「人権・同和教育 LHR」での学習内容を学び終えた生徒の感想を中心に紹介します。ぜひ、ご家庭でお読みいただければ幸いです。また、LHR後に家庭で話し合った内容や「しらかべ」をお読みいただいた感想や本校の人権・同和教育の取り組みについてのご意見などがありましたら、別紙返信用紙にご記入の上、1学期保護者懇談の折に担任の先生にお渡しください。



## 「人権」ってなんだろう？

人は誰しも「幸せに（自由に、楽しく、豊かに）生きたい」という願いを持っています。人権とは、人がその願いを追求する権利であり、“誰もが等しく、生まれながらに持っている、誰からも侵されない”権利です。しかしながら、現実には同和問題をはじめ、障がい者、外国人、ハンセン病回復者、HIV感染者等に対する人権侵害など、さまざまな人権課題が依然として存在します。また近年、社会状況の変化に伴い、従来の人権問題に加え、インターネット等による人権侵害など新たな人権課題が発生しており、これらの課題に対する取り組みも積極的に推進していくことが求められています。

差別のない社会を実現するためには、**自分と他人の人権を大切にする気持ち＝「人権感覚」**を身につけることが何よりも大切なのではないのでしょうか。

## 8月は「同和问题啓発強調月間」です



香川県人権啓発推進会議では、1965(昭和40)年8月に「同和対策審議会答申」がなされたことから、8月を「同和问题啓発強調月間」と定めています。同和問題は、我が国社会の歴史的発展の過程で形づくられた身分差別により、今日でも、憲法で保障されている基本的人権が十分に保障されていないという重大な社会問題です。同和問題の解決を図るためには、すべての人々がお互いの人権を大切にすることの重要性を正しく理解し、行動することが必要です。

この夏休みを、お子さまと一緒に人権について理解を深めるきっかけにしてみませんか。

# 1年生の取り組み



坂出高校では、1年次に人権・同和教育を行うホームルーム活動（以下、LHR）の時間が5回計画されています。その5回のLHRで人権の尊さや私たちの社会に残っている人権課題について考えていきます。

6月4日に「人権スローガンをつくろう」というテーマのもとに1回目のLHRを行いました。高校で最初に行う人権・同和教育で、まず「人権とは何か」を再確認し、日常生活に見られる人権が守られている場面・守られていない場面について振り返りました。次に、クラスを例に取り、生徒たちにとってクラスが過ごしやすい場となるために大切にすべきことについて、グループで考えました。最後に、グループで出た意見をクラス全体で分かち合い、クラスへの思いを感想文という形で1人ひとりが書きました。

その話し合いは、楽しい雰囲気ですぐ進められました。さらに、生徒は素直な気持ちで真剣に意見を述べ合っていました。その様子から、生徒それぞれが居心地のよいクラスにしたいという思いを強く持っていることを感じました。

クラス	スローガン
1年1組	NDIA（何でも言い合える）
1年2組	Always Smile！😊
1年3組	笑顔増殖中☆
1年4組	器～YONKUMI～陽気で仲良しくらすのみんな
1年5組	びよびよ隊（ひとりにさせない、喜ぶ顔がみたい、こえかけ仲間を増やそう）
1年6組	毎日笑おう
1年7組	39の輝く笑顔ここにあり
1年8組	はじまりはあいさつから ちからをあわせて くなんをのりこえ みんな君の味方だよ



以下に、生徒たちの感想文の中から、その声を一部紹介いたします。

- ◎中学生の頃から人権について学ぶ機会があったが、普段の生活の中で人権が守られていないと思うことも意外にあるのだと思った。守られていない人権についてはたくさんの人の協力や努力によって解決しなければならないけれど、守られている人権は当たり前すぎて気づかないものがたくさんあるのではないかと考えた。
- ◎子どもたちが勉強することのできる自由。好きな人と結婚したり、好きな職業を選ぶ自由。今となっては「あたりまえ」だが、昔からずっと「あたりまえ」だったわけではない。今の「あたりまえ」は昔の人の願いと努力の結果である。
- ◎クラスのスローガンを決めるとき、「個性」という言葉がたくさん出てきた。一人ひとりの個性を大切にできるクラスは居心地が良いと思うし、笑顔が絶えないと思う。私たちもこのようなクラスにするために、みんなが心を開ける雰囲気をつくりたい。
- ◎人権スローガンを立てることで、今までよりもこのクラスについて考えることができた。班ごとの発表を聞いて、このクラスの誰もが、自分の思っていることや意見を互いに言い合って本音でぶつかりあえる仲間になりたいと思っているのだと分かった。この時間を通して、このクラスがもっと好きになり、今以上にずっと良くしていきたいと思った。気を遣うばかりでうわべだけの関係ではなく、互いを高めあう言葉や本音が飛び交う、真の友達になっていきたい。

このLHRで話し合ったことを活かし、生徒みんなの力でいいクラスにしてほしいと思います。また、これからの人権・同和教育学習で学ぶことが、人権を大切に作る姿勢へと育まれていくことを願っています。

お家でも、お子さまから話を聞いていただければと思います。